

第13回「耕人塾」第7期 閉塾式

[日 時] 平成30年12月15日（土）18:30～20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館3階学生ホール

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』第7-8号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●塾長挨拶（木村塾長）

第7期閉塾式を迎え、木村塾長から塾生に対して、これからどう生きるかを考え、自分を輝かせてほしい。そして、周囲や地域を輝かせる人になってほしいと、お話されました。最後に、絶対不変の四原則（「①人間は死ぬ。永遠ではない。」「②自分の人生は自分でしか歩めない。」「③人生は一度きりである。」「④自分という人間は世界に一人しかいない。」）についてお話され、人生は一度きりなので、これからも人間力を磨いてほしいと、激励しました。



指導委員や運営委員が参列する中、7年目の閉塾式に臨む今年度修了する塾生たち

●本日の流れについて（平塚指導委員長）

●第7期耕人塾を振り返って【5分】

修了証授与の後に、1分以内でスピーチする内容の検討を各自行いました。

<テーマ「これから何を大切に生きていきますか」>

【スピーチ内容の例】

- ・自分自身が成長したと思うこと
- ・今後取り組もうと思っていること
- ・ゴミ拾いの実践を通して学んだこと
- ・「世界に誇れる石巻地域」について考えていること
- ・これからの耕人塾について
- ・これからの私の生き方について

●修了証授与



塾長から修了証を授与され、引き続き耕人塾で得たことなど、堂々と発表する塾生

【塾生の主なスピーチ内容】

- 小さなチャレンジ精神から耕人塾に入りました。その小さな一歩が自分を成長させてくれました。
- 耕人塾を卒業した後のこれからの過ごし方こそ大切だと思って、難しいことにもチャレンジしていきたいです。
- あいさつをすることは人や場をつなぐことにつながることを学びました。おもいきって自分からあいさつをすることで、友達がたくさんできました。これからは、地域の方々にも自分からあいさつをしていきたいです。
- 仲間と共に考え、自分から活動に積極的に取り組めるようになりました。人とかかわる中でそれまで自分が考えてこなかったことを考えることができました。これからも「かかわり」を大切にしていきたいです。
- 「人との繋がり大切さ」を学びました。
- 人の役に立とうと頑張りました。ゴミ拾いをして地域の方から感謝されたのが嬉しかったです。
- いろいろな人との交流を通じて、コミュニケーションの大切さを改めて知ることができました。来年も耕人塾で頑張ります。
- 人とかかわることを大切にしてきました。何事も、あきらめないことが大切だということを学びました。
- ゴミ拾い活動など、みんなと活動をするのが楽しかったです。考えたことを行動に移すことの大切さと仲間と力を合わせて活動することの大切さを学びました。
- 耕人塾を通して、人とのつながりや出会いがあり、たくさんの人にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。
- 「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」と「+1（プラスワン）」の目標に向かって頑張りました。宿泊活動ではよい刺激を受け、自分の成長につなげることができました。
- 諦めないで挑戦することを学びました。ゴミ拾い活動など、当たり前のことをすることの大切さについても知ることができました。耕人塾で4年間学び、これからは、海外の違う世界で学びたいと思っています。
- 人が嫌がるゴミ拾いを通して、人のかかわりが生まれてきました。貴重な体験になりました。
- 川開き、ゴミ拾い活動など地域の人のために活動するのは難しいと思っていましたが、自分ができることはたくさんあること知りました。
- 川開きのごみの量がすごかったので、自分なりにできることを今後も続けていきたいです。

●講評（舩田副運営委員長）

2名の皆勤賞が舩田副運営委員長から紹介され、拍手で称えられました。



舛田副運営委員長から、塾生の活動を振り返り、何事にもチャレンジし、人との関わりの中で磨かれることの大切さについて話されました。また、「平成」の元号の考案者と言われている安岡正篤氏のことを話題にし、「平成」は、“平和な時代が成り立つように”ということに触れ、今後、本当の正しさが成り立つように正しい行動でやり遂げるよう激励しました。

●記念撮影



修了証を手にして、誇らしげにしている塾生たち

●第7期修了記念交流会【45分】



第7期修了を喜び、乾杯する塾生たちと指導委員、運営委員

<修了記念発表>

今年10月に実施された「いしのみき政策コンテスト」で最優秀賞を受賞した石巻専修大学人間学部人間文化学科の学生によるプレゼンテーションが実施されました。「20年後に私たちが住みたい石巻はこれだ！ 今、どんな政策が必要か考えよう」がテーマであり、「移動手段の改革と立町の活性化」「フリーランスの移住促進」「子育て家庭支援のための施設改修」など提言しました。

塾生が取り組んできた「プロジェクト(であい・ふれあい・かかわりあい)」の来年度の取り組みについて意欲を喚起することができました。



大学生の代表2名の発表からヒントを得ている塾生たち

●閉会の挨拶（横江運営委員長）

横江運営委員長から、耕人塾で学んだことを改めて振り返るよう話されました。修了した結果も大切ですが、修了までの過程で学んだ“つないでいく役割”を一人一人の塾生が身に付けてきたことが重要です。どうか、耕人塾で学んだことを次に“つないでいく役割”を大切にして精進してほしいことを話されました。

最後に、「ピエロの涙」の話をしました。

ピエロは、相手を笑わせることが仕事です。ピエロは、演技と演技の間に登場する滑稽な芸人で観客の笑いを取ります。観衆から笑われることにより、次に登場する演技を引き立たせるのです。つま

り、“つないでいく役割”を演じているのです。

しかし、ピエロも芸人。本当は派手な演技で拍手喝采を浴びたいに違いありません。ピエロの顔に描かれた一粒は、ピエロのみ知る心の奥底にしまい込まれた涙なのかもしれません。

“つないでいく役割”をこれからの生活に生かしてほしいと願いを込めて、締めくくりました。

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

第13回「耕人塾」第7期 閉塾式

第12回

第11回

第10回

第9回

第7-8回 宿泊研修

第6回

第5回

第4回

第3回

第2回

第1回

平成29年度の活動

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

平成25年度の活動

平成24年度の活動

報道・受賞